

データベース操作ログから始まる 情報セキュリティ

データベース操作ログから始まる
情報セキュリティ

データベース“自らの”機能による操作ログ出力を活用
対象データベースに接続できるだけでデータベースログ監査可能

AUDIT MASTER

可監査性 < Auditable >

監査で求められるものを、必要とされた時即座に、また充分かつ効果的に。
Audit Master は、データベースからの網羅的な証跡を提供します。

● クラウド、オンプレミス、
国内外あらゆる環境に対応

● 管理者の操作、暗号化通信経由など
さまざまな経路・操作も
もれなくモニタリング

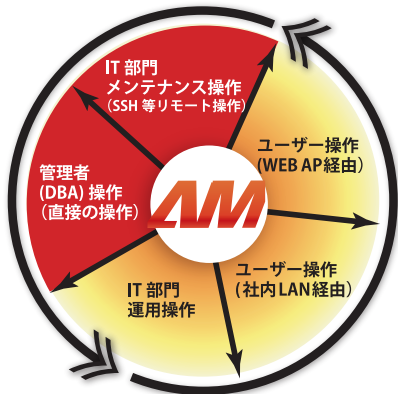
● ログ参照、違反アラート、監査レポート
といったログ管理ソリューションに
必要な機能を標準装備



可維持性 < Maintainable >

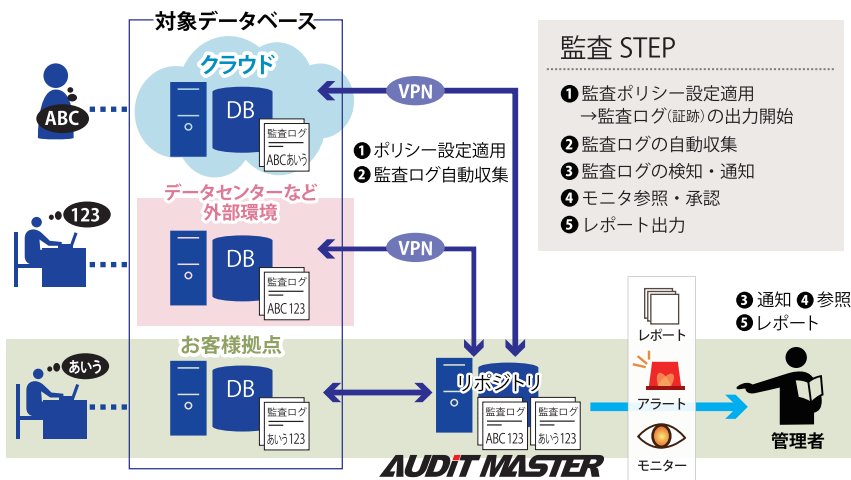
終わりのない監査システムの継続運用を支え、変化にも対応。
Audit Master は、「続けられる」ために必要な機能を提供します。

「全方位・全角度」

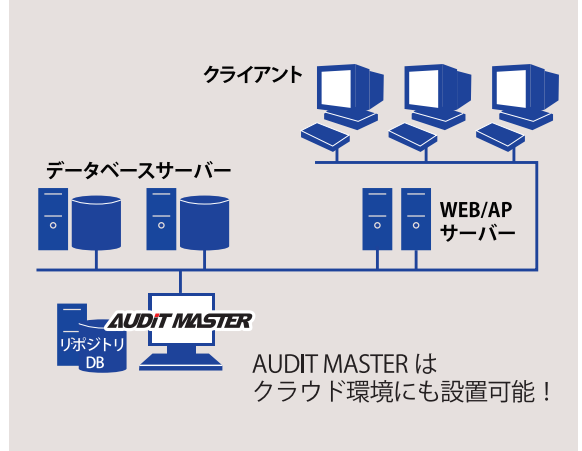
死角のない
データベース監査を実現する対象 DBサーバに
インストール不要ネットワークや
環境に
依存しないユーザーによる
ログ管理・監査
が可能

データベース監査の仕組み

DB 監査の流れ



構成例



機能概要

ポリシー policy

- 標準の監査機能を使った、安全で確実な監査ログ出力を実現
- データベースへの直接アクセスや管理者権限操作も取得可能
- データベース稼働中は監査ログ出力を 100% 保証

※ネットワーク障害等での欠損なし
※標準監査はツール・エージェントなどのインストールが不要

レポート report

- 定期的なモニタリングや監査報告に役立つ監査ログレポートスケジュール出力機能
- 対象項目や条件を独自に設定できる柔軟な監査ログレポートを標準提供
- メール、SNMP、Windows イベントビューワへのアラート通知が可能

モニター monitor

- 監査ログ出力や絞り込み条件 (ポリシー) の設定・確認が、コマンド操作なしに実現
- 監査ログの一覧参照、条件検索も画面操作から簡単に実行可能
- 監査システムの稼働状態、スケジュール実行結果や取得監査ログ量の確認機能

管理機能 manage

- 圧縮、暗号化を備えた監査ログバックアップ機能
- 必要な時にすぐに監査ログを復元できるワンクリックリカバリ
- 対象データベースの領域管理やパフォーマンスにも配慮した監視とメンテナンス機能搭載

システム要件

■対象データベース

RDBMS: Oracle Database: 12.1.0(*), 11.2.0, 11.1.0, 10.2.0, 10.1.0, 9.2.0, 8.1.7
SQLServer: 2012, 2008R2, 2008, 2005, 2000
MySQL: 5.1.16 以上
*Mix モード (Audit) のみ

OS: 上記 RDBMS が稼働する OS

■AUDIT MASTER 導入環境

OS: Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2, 2008, 2003
Windows 8 (Pro) / 7 (Professional, Ultimate) / Vista (Business, Ultimate) / XP (Professional SP3)
Red Hat Enterprise Linux 5.5+ (gnome-desktop-2.85) 以上
Red Hat Enterprise Linux 6.x (gnome-desktop-2.86) 以上
オラクル Solaris10

▼ 監査ログモニター



▼ 監査ログレポート / 監査統計レポート

